

## 令和7年度 神戸弘陵学園高等学校修学旅行 仕様書

### 1. 旅行期間

令和8年2月15日（日）～ 令和8年2月20日（金）の期間内での3泊4日

### 2. 旅行先

沖縄方面

○選定理由

- ・ 行程期間中の気象変動による行程変更のリスクが少ない。
- ・ 病気やけがによる医療機関へのリファーが容易で安心安全が確保しやすい。
- ・ 琉球王国以来の独自の歴史と文化を国際的な視野で学び取れる。
- ・ 伝統工芸や料理、民俗行事など、地元の文化を体験する豊富な環境がある。
- ・ 沖縄は国際交流の拠点でもあり、外国人との交流や異文化理解を深める機会がある。

以上の観点から、生徒の様々な興味関心を喚起し、進路意識や学習意欲の高揚に資することが期待できる地域として旅行先に選定した。

### 3. 参加予定人数

212人（生徒197人：男子117人、女子80人、引率教職員15人）

※生徒数の減数可能性あり。また引率教職員の男女数は未定

### 4. 予算

生徒一人あたり120,000円を目安とする（税込み、事前学習会経費を含む）

※ただし、旅行実施期間時までに消費税増税の際も、予算内であること。

### 5. 旅行企画について

(1) 次の目的が達成できる旅行計画とすること。

ア 日本社会の構図への問題意識を喚起できるような旅行となること。

イ 活動を通じた他者との交流で、ダイバーシティを学べる機会となること。

(2) 中学校で2泊3日での沖縄修学旅行を経験した生徒も多いことを考慮した内容であること。

(3) 交通手段について

ア 費用内で、生徒の負担が少なくスムーズな移動手段であること。

イ 往復の交通手段は空路直行便が望ましく、空港到着時間は生活常識の範囲内であること。

ウ 集合・解散は原則として空港とすること。

(4) 旅行日程等について

ア グループでの活動を要する場合は、4人程度を単位とする。

イ 個別で選択できるアクティビティを取り入れる。ただしスポーツが不得手である生徒を考慮したメニューを必ず設定すること。

ウ グループでのタクシー研修や2人程度で廻れる自由散策なども可とする。

エ 民泊体験を取り入れる場合は、既に実施した他校例で得られた問題点に十分考慮する。

（裏面へ続く）

## (5) 添乗員、看護師について

ア 3人以上の添乗員で全日程をサポートする態勢がとれること。

イ 1人以上の看護師が全日程同行する。

## (6) その他

ア 変更保険、学校旅行総合保険等、安全確実な旅行催行に資する保険に加入し、旅行費用に含むこと。

イ 添乗員費、看護師費用について旅行費用に含めること。

ウ 卒業アルバム写真撮影のため、写真業者1名が本校から同行するので、その者の単独での行動を除く交通機関、食事、宿泊等の手配を行い、その経費については写真業者へ直接請求すること。ただし、その内訳は本校に開示することとする。

エ 企画代金は旅行費用に含めること。

オ しおりを参加人数と予備を含めて作成し、ネームタグ、携帯電話1機を準備すること。

カ 上記以外に、業者独自の付加価値・サービスも提案すること。

キ 企画提案書の提出部数は10部提出すること。

以 上